

群馬県がんの教育総合推進事業の取組

平成27年度の実施概要

- がんの教育に関する協議会の設置
- がんの教育に関する検討委員会の設置
- 実践校における実践（小中高 各1校）
 - ・ 小学校 伊勢崎市立南小学校 【第6学年】
 - ・ 中学校 伊勢崎市立第一中学校 【第3学年】
 - ・ 高等学校 県立伊勢崎興陽高等学校 【第1学年】
- 研修会の開催
（実践校地区 及び 県内学校対象）

がんの教育に関する協議会 開催

第1回 平成27年10月5日

〈協議〉

- ・がんの教育に関する計画について
- ・がんの教育の内容や進め方について

第2回 平成28年2月2日

〈報告〉

- ・今年度の取組について
- 〈協議〉
- ・今年度の計画・取組について
 - ・次年度の計画・取組について

	氏 名	所 属 等
1		大学教授
2		
3		三師会
4		
5		
6		
7		がん患者会
8		PTA
9		
10		看護協会
11		県立がんセンター
12		保健部局
13		

がんの教育に関する検討委員会 開催

第1回 平成27年10月7日
第2回 平成27年10月15日
第3回 平成27年12月8日

○授業内容等の検討

- ・がん教育の方向性
- ・指導案
- ・資料
- ・進め方
- ・授業検討
- ・意見交換

	氏 名	所 属 等
1		大学教授(医学系研究科)
2		大学准教授(看護学科)
3		実践校教諭
4		
5		
6		実践校養護教諭
7		指導主事
8		
9		
10		
11		
12		国立がん研究センター
13		がん患者会
14		がん患者支援団体

27年度 がんの教育に関する講義

【教職員対象】 11月 2日(藤岡市みかぼみらい館)

講義 「学校でのがん教育」

講師 群馬大学大学院 医学系研究科

病態腫瘍薬理学 西山正彦 教授

【講義内容】

- 日本におけるがんの状況
- がん治療
- 学校でのがん教育の必要性
- がん教育のすすめ方 等



27年度 伊勢崎市立南小学校の実施概要

時期	時間	内容
二学期	体育 (保健領域)	○「病気の予防」 生活習慣病など生活行動が主な要因となって起こる病気の予防には、望ましい生活習慣を身に付ける必要があること、喫煙・飲酒・薬物乱用などの行為は、健康を損なう原因となることを理解する。
9月10日	特別活動 (学級活動)	○「喫煙防止教室」 たばこについての基礎知識や害について理解し、たばこによって引き起こされるがんもあることを学んだ。 ※伊勢崎保健福祉事務所との連携
10月15日	道徳	○主題名 限りある命を大切に 生命尊重 3-(1) 「その思いを受けついで」 死の重さや生きることの尊さなどを感じ、自他の生命を尊重する態度を育てる。 ※外部講師(大島会長)との連携

27年度 伊勢崎市立南小学校「道徳」の取組



- 1 生活習慣病について振り返る。
- 2 資料「その思いを受けついで」を読み、主人公の思いについて考える。
・資料 ・ワークシート
- 3 大島さんのお話をもとに、限りある命について自分自身を振り返る。
- 4 本日の授業を振り返り「いのち」について考えたことをまとめる。
- 5 まとめた感想を発表する。

27年度 伊勢崎市立南小学校「道徳」 児童の感想から

今日大島さんの話を聞いて思いました。いのちは、やはり大切なと思いました。私のひいおばあちゃんも、がんなので今日のはなしをきかせたいと思いました。ひいおばあちゃんが、このはなしをおきいたら、ゆづきをもてると思います。

ぼくはうまくいかないことが何回か連続して起こると死にたくなるといふことがこれまでに何回かありました。でも今日の大島さんのガンやじいちゃんの話を聞いてもう、そんなことは考えないようにする。と思いました。

命はすぐく大事なものだと思いました。また、がんになっても、あきらめがないでがんばれば、治るんだと思いました。手術の後に生活が大変になりました。でも、がんばっているんだなと思いました。もし、家族が病気になったら、助けてあげたいと思いました。

27年度 伊勢崎市立南小学校 児童(6年生)に対するアンケートから

事前 (%)					事後 (%)				
	質問	そう思う	どちらかというところ		そう思わない	そう思う	どちらかというところ		そう思わない
			そう思う	そう思わない			そう思う	そう思わない	
a	がんの学習は、健康な生活を送るために重要だ。	65	26	0	10	84	13	0	3
b	がんの学習は、健康な生活を送るために役立つ。	58	29	6	0	84	16	0	0
	質問	正しい		誤り		正しい		誤り	
e	早期発見すれば、がんは治りやすい	71		26		91		3	
f	体の調子が良い場合は、定期的に検診を受けなくても良い。	23		77		3		97	
	質問	そう思う	どちらかというところ		そう思わない	そう思う	どちらかというところ		そう思わない
			そう思う	そう思わない			そう思う	そう思わない	
d	がん検診を受けられる年齢になったら検診を受けようと思う。	48	39	3	10	84	13	0	0
g	がんになっている人も過ごしやすい世の中にしたい。	55	29	6	10	81	16	0	3

(n=31)

(n=32)

27年度 県立伊勢崎興陽高等学校の実施概要

時期	時間	内容
一学期	保健体育	○「現代社会と健康」 「生涯を通じる健康」 生活習慣病を予防し、調和のとれた健康的な生活を実践することが必要であることを理解する。
12月 8日	学校行事	○講義 『自分らしさって何だろう？』 がん経験者 桜井 なおみ ○質疑応答
2月	○生徒保健委員会	・「がんにならないためにできること」 ・「がんになってしまったら」 ・「がんになってしまった人のためにできること」 上記についてまとめた「保健だより」を発行

27年度 県立伊勢崎興陽高等学校の取組

講義 『自分らしさって何だろう？』

講師 がん経験者 桜井なおみ



【講義内容】

○自己紹介

○がんの治療体験

○最新の治療方法

○乳がんの告知を受ける前・受けてから

○早期発見の重要性

○医療の進歩

○質疑応答

27年度 県立伊勢崎興陽高等学校「講演」後 生徒の感想から

今日、桜井なおみさんの戒断のことについて話をしました。話を聞いて、あきらめずに治そうという気持ちが大変大切だと思いました。でも、もし自分が戒断したら、実際わがらないなと思いました。

でも、まずは戒断にならないようにたばこを吸わない。他人のたばこの煙をできるだけ、さける。お酒をほどほどに、たばこを吸っていきたくないなと思いました。

今日の講演会の話をして、参考になったことは、「がんを防ぐための12か条」です。正直がんにならないための予防はあまり知らなかった。とても参考になりました。がんになる原因としては、喫煙が30%、成人期の食事・肥満が30%で、あとの4割はいろいろな原因では、きりとした原因はわかていないのでこわいと思います。桜井さんの話をきいて初めてわかったこともたくさんあり、いい話をきけたなと思いました。

私たちに与えられたものは、身辺、なまのなまにならぬように思いました。

私は、がんにはならないと思っていました。だから、なる可能性は、ないわけではないというのが、わかりました。もし、私の友達で、病気になる人がいたら、私はそのことにしてほしい事を、なんでもしてあげようと思っていました。氣を付け、いすぎに、なにも話さないうち、もし、いけい、と、病を、かして、あずかることは、必ず、その、背中を、かして、あげたり、うしろを、かして、あげたり、私は、ほめて、やる、ことが、たくさん、あります。それに、もし、私が、がんになったら、と、いふ、おんなに、せめて、ほしいです。いつか、のように、描いて、ほしいです。

成りは年齢関係なく急に発症する病気は自分だからと。と、とて身辺はものごとがだんだん。と思えました。

バビロンの命を懸けてしまつたものは、後遺症が残、てしまう人。無事健康な人。人それぞれ個人差があるけれど、いつ自分ががん、にな、てしまうかわからない。とても怖いけど今は一生懸命生きてい。こう思うことが出来ました。命の重さ。今は弟と力をいれ死ぬと決意、大い言わ水大い押し進めていくと決意しているけど、生きてくても生きられないのがこの世の中には沢山の人はいると思うことが大切だとは思いました。今日、貴重な命を聞けて良かった。天まで

27年度 県立伊勢崎興陽高等学校 生徒(高校1年生)アンケートから

事前 (%)

質問	そう思う	どちらかというと		そう思わない
		そう思う	そう思わない	
a がんの学習は、健康な生活を送るために重要だ。	65	33	2	0
b がんの学習は、健康な生活を送るために役立つ。	63	35	2	0

➡

事後 (%)

質問	そう思う	どちらかというと		そう思わない
		そう思う	そう思わない	
a がんの学習は、健康な生活を送るために重要だ。	77	22	2	0
b がんの学習は、健康な生活を送るために役立つ。	73	24	2	0

正しい

質問	正しい	誤り
a がんは誰もがかかる可能性のある病気である。	96	4
c がんは日本人の死因の第2位である	58	41

➡

正しい

質問	正しい	誤り
a がんは誰もがかかる可能性のある病気である。	98	2
c がんは日本人の死因の第2位である	45	54

質問

質問	そう思う	どちらかというと		そう思わない
		そう思う	そう思わない	
f がんになっても生活の質を高めることができる。	16	37	37	11
g がんになっている人も過ごしやすい世の中にしたい。	53	43	3	1

➡

質問

質問	そう思う	どちらかというと		そう思わない
		そう思う	そう思わない	
f がんになっても生活の質を高めることができる。	30	36	27	8
g がんになっている人も過ごしやすい世の中にしたい。	68	28	3	1

(n=197)
(n=198)

平成26・27年度 伊勢崎市立第一中学校 がんの教育に関する実践



教諭 田村 友子

がん教育の目標

① がんについて正しく理解することができるようにする

- がんが身近な病気であることや、がんの予防、早期発見・検診等について関心をもち、正しい知識を身に付け、適切に対処できる実践力を育成する。また、がんを通じて様々な病気についても理解を深め、健康の保持増進に資する。

② 健康と命の大切さについて主体的に考えることができるようにする

- がんについて学ぶことや、がんと向き合う人々と触れ合うことを通じて、自他の健康と命の大切さに気付き、自己の在り方や生き方を考え、共に生きる社会づくりを目指す態度を育成する。

26年度 伊勢崎市立第一中学校の実施概要

時期	時間	内容
一学期	保健体育	○「病気の予防」 がんをはじめとした生活習慣病とその予防について理解を図る
10月7日	特別活動 (学級活動)	(2)適応と成長及び健康安全 ○「がんについて知ろう」 がんに関する正しい知識の理解を深め、自らの健康を適切に管理しようとする態度を育てる ※日本対がん協会作成DVD使用
10月14日	道徳	○主題名 生命の尊さ 生命尊重3-(1) 「命をみつめて」 がん患者の生き方を考えることを通して、生命の尊さに気付き、自己の生命を大切にしようとする心情を深める

教科 保健体育〔保健分野〕 教科書では 5 生活習慣病の予防



教科 保健体育〔保健分野〕 「がん」について扱う 部分



資料 2 生活習慣病になる過程

資料 3 危険因子ごとの国内の推定死亡者数 (2007年) (厚生労働省資料2011年より)

危険因子	推定死亡者数 (万人)
喫煙	12.5
高血圧	10.5
運動不足	8.5
肥満	7.5
塩分の過剰摂取	6.5
アルコール摂取	5.5
過剰なストレス	4.5
果物・野菜の低摂取	3.5

※これらは、生活習慣の改善などによって避けられる要因である。

がん リンク P.146 | がんについてもっと知ろう

体の正常な細胞が異常な細胞に変化して勝手に増殖することにより、周囲の大切な組織を壊してしまう病気。喫煙は肺癌がんや肺がんの原因となり、塩分の多い食事は胃がんの原因となる。また、動物性脂肪のとりすぎや食物繊維の不足は大腸がんの原因となる。

がん細胞の増殖

がん リンク P.146 | がんについてもっと知ろう

体の正常な細胞が異常な細胞に変化して勝手に増殖することにより、周囲の大切な組織を壊してしまう病気。喫煙は肺癌がんや肺がんの原因となり、塩分の多い食事は胃がんの原因となる。また、動物性脂肪のとりすぎや食物繊維の不足は大腸がんの原因となる。

がん細胞の増殖

COPD (慢性閉塞性肺疾患)

主に長年の喫煙が原因で肺に炎症が起こり、せき、たん、息切れなどの症状が出て、次第に呼吸器機能が衰える。

「新しい保健体育(東京書籍)」

資料 5 非喫煙者と比べた喫煙者のがん死亡率 (坪山様, 1988年より作成)

がんの種類	性別	死亡率の倍数
口腔がん	男性	2.8倍
	女性	2.8倍
肺癌	男性	4.5倍
	女性	2.3倍
肝臓がん	男性	3.1倍
	女性	2.2倍
喉頭がん	男性	32.5倍
	女性	3.3倍
食道がん	男性	2.2倍
	女性	1.7倍
ぼうこうがん	男性	1.6倍
	女性	2.3倍

ポイント 喫煙は、さまざまな器官に悪影響を及ぼす。

資料 6 喫煙開始年齢と死亡率比 (厚生労働省「喫煙と健康」)

■ 非喫煙者と比べた場合 (男性)

喫煙開始年齢	がん (死亡率比)	心臓病 (死亡率比)
14歳以下	4.25	10.34
15-19歳	1.45	1.91
20-29歳	1.34	1.86
30歳以上	1.04	1.79

ポイント 50歳代という働き盛りの年齢で死に至るといふことは、本人だけでなく家族や社会にも与える影響が大きい。

活用

考えてみよう

右のグラフは、日本のたばこの消費量と肺がん死亡の関係を示したものです。この表から読み取れることを挙げてみましょう。

資料 7 たばこの消費本数と肺がん死亡率 (厚生労働省資料より作成)

左軸: たばこ消費本数 (10万箱以上)
右軸: 肺がんによる死亡率 (人口10万対)

「新しい保健体育(東京書籍)」

26年度 伊勢崎市立第一中学校「道徳」の取組



- 1 生命のかけがえのなさについて話し合う
- 2 資料「命をみつめて」を読み、瞳さんの思いについて考える
 - ・作文「命をみつめて」
 - ・映像
- 3 瞳さんが「伝えたいこと」について考える
- 4 瞳さんの「生き方や考え方」について考え、今までの自分を振り返る
- 5 「私たちの道徳」(文部科学省)を活用し、本時のまとめをする

26年度「道徳」授業後 生徒の感想から

・ 瞳さんから教えられることは、今 生きていることに感謝し、
 ・ できれば命が尊いということです。演説文を見て、闘病
 生活が いかにか 厳しいか、1日1日がと入だけ大切か 知ることが
 でき、今、自分の生き方を振り返ることができました。
 がんは 恐い 病気 だけど、それとはまた別に 新しい何かを
 教えてくれる 病気 であるのだと思った。今の自分の生活が
 とても 幸せで 恵まれていること 常に 思っていること。

と人前の自分は、命の重さというものについて
 あまり、深く考えられなかった。しかし、身近なも
 のは 失う直前や失って はじめて その大切さに
 気付く。そのことを瞳さんの主張から 感じる
 ことが できた。これから 命も しっかりと 身近な物
 こそ 大切に しようと思う。

一つ一つの大切な命を 守って いきたい と思いまし
 た。昨日お義父さんが 肺がんで 亡くなり
 告別式が行われました。棺の中に 野球ボール
 を 入れて もらいました。自分は一度も 面会に
 行けず にとっても 悔しかった。自分の 周り にある 一つ一
 つの 命を 大切に し 生きて いきたい と思います。